

委員・有識者からの主な意見（分野別会合（瀬戸内産業））

□ 港湾施設整備の着実な推進

- ・徳山下松港は航路の制約がない優れたインフラであり、引き続き、育成プログラムに沿った整備を進めてほしい。
- ・東日本大震災や企業を取り巻く環境の変化に対応するため、育成プログラムを見直すとともに、長期ビジョンを示してほしい。

□ 工業用水の安定供給

- ・県の尽力に感謝している。生産品目の高度化に向けては工業用水の安定確保が益々重要になる。更なる取組を進めてほしい。

□ 企業間連携

- ・企業間連携は次の10年、20年先を見据えて取り組むべき。
- ・企業の間でも連携を進めるべきとの意見が出ている。
- ・企業間連携は、安全管理、設備管理、人材育成などの分野で考えられる。
- ・小さなことから取り組むべき。オペレータの教育など、安全確保の取組は連携の足がかりになる。
- ・ハードだけでなく、ソフト面の連携も必要。安全事例の共有やトラブルの回避などで、企業間で相談できる信頼関係をつくることができる。
- ・地域で連携協議会のようなものをつくっていく。その場合、県が入るなど仲介役が必要。

□ 人材育成

- ・どの企業も化学技術者を必要としている。メンテナンスやプラントエンジニア等の化学技術者を育成するための専門の教育機関設置や教育カリキュラムの実施を検討してはどうか。
- ・協力会社や下請け会社の作業員の教育も重要であり、職業訓練所を活用して、こうした企業を対象にした保全教育を実施してはどうか。
- ・女性を雇用していくためには託児所の整備が重要だが、一つの企業で整備するのは困難な面があるので、企業間や行政と連携して対応することも検討してはどうか。

□ その他

- ・県内に研究拠点や企業の本社機能呼び込むことは重要である。